

周浩羽

研究内容：

日本固有の小型食肉目動物であるニホンイタチは、2020 年のレッドリストで、北多摩地域では準絶滅危惧種に指定されています。ニホンイタチは生物多様性の重要な構成要素であるだけでなく、頂点捕食者としての本種を研究することは、同じ生息域における他の動物個体群の変化を研究する上で示唆的です。ニホンイタチが都市河川をどのように利用しているのか、外来動物と在来動物の種間関係はどうなっているのか、といったまだ明らかになっていないトピックに研究しています。

学会発表：

ポスター発表

周浩羽、久保嶋江実、金子弥生「多摩川河川敷における中大型哺乳類 4 種の春季の土地利用」、『第 40 回日本動物行動学会大会』、P-68、オンライン、2021 年 9 月

Haoyu Zhou, Chris Newman, Emi Kuboshima, Yayoi Kaneko 「Habitat selection and activity patterns of the Japanese weasel in an urban river landscape」
『13th International Mammalogical Congress』V-17, July 2023.

口頭発表

周 浩羽、久保嶋 江実、金子 弥生「多摩川河川敷における食肉目動物 4 種の春と夏の環境選択の季節変化」『日本哺乳類学会 2022 年度大会』OB4-06

シンポジウム発表：

Haoyu Zhou 「When it gets cold, Japanese weasels (*Mustela itatsi*) in urban river corridors start to stay up late」『Mini Symposium for Carnivore Ecology and Conservation II』12th December 2024

